

採算向上へ取り組み強化 国交省の技術者向けに集約

全建

全国建設業協会(全建)淺沼健一会長は、受注工事の採算性を向上させ、企業経営に不可欠な適正利益の確保につながる取り組みを強化する。工事の円滑な実施には発注者と良好な関係を築き、コミュニケーションを密にする必要があるため、国土交通省が整えた設計変更、工事一時中止の指針などを集約した現場技術者向けの冊子を作成。会員各社に配布し、施策の理解を深めてもらう。10月に全国の各所で開催する公共発注機関との地域懇談会でも、「ガイドラインなどの周知」を意見交換のテーマに取り上げる。

建設投資の減少に伴う受注競争の激化などを背

景に、建設会社の利益率は急激に落ち込む、多くの企業が経営に不可欠な利益を確保できない状況に陥っている。

全建は適正な価格で公共工事を受注し、工事終了時に利益が確保できる環境を整えるため、低入札価格調査制度の基準見直しなど入札契約制度の改善をこれまでも公共発注機関に要望してきた。また、国交省が取り組んでいる設計変更や工事一時中止などのガイドラインの普及についても、会員各社への浸透などを調査している。

作成する冊子は、国交省のガイドラインなどを中心に掲載。設計変更や工事の一時中止、書類作成などを進める際、現場技術者に参考資料として役立ててもらおう。現場技

インターネット時代の、
新しい価格情報サービス

Web建設物価

申し込み 受付中

<http://www.web-kensetu-bukka.jp/>

術者に各種制度を理解してもらい、発注者と対等な立場でコミュニケーションを図ることで、利益の向上につなげてもらう方針だ。